

3 中国

北京市地下鉄建設事業第一期(1)(2)、第二期(1)~(4)



本事業により調達された車両

[借款概要]

承諾額/実行額	19,678百万円 / 19,184百万円
借款契約調印	1988年8月 ~ 1995年1月
借款契約条件	金利2.5% / 2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1995年8月 ~ 2001年5月

[事業概要]

交通渋滞の激しい北京市のメインストリートである北京市長安街に地下鉄を建設することにより、路面交通の混雑を緩和するもの。

[評価結果]

本事業により、地下鉄1号線の一部である約13kmの地下鉄建設(11の駅等を含む)及び車両174両の調達が実施された。本事業対象区間が全面開通した2000年以降、列車運行本数は432本/日、ピーク時運行間隔は3分となっている。本事業対象区間利用者は現在1号線全体利用者(約160百万人)の過半数と推定され、当初利用者計画(588百万人、全面開通2年後)との乖離はあるものの、ピーク時混雑率は約80%であり、路面交通の地下鉄への振替による潜在的な交通渋滞緩和効果のほか、時間節約効果等、一定の社会経済的効果は認められる。また、アンケート結果でも利用者の満足度は高い。ただし、自動車の保有台数が急増したことや、依然としてバス等の路面交通への依存度が高いこと等を要因として、長安街の交通渋滞は現在でも継続している。

北京市地下鉄の各機器の運営・メンテナンスにおける問題はないものと考えられ、日本の営団地下鉄も職員研修に協力している。ただし、財政面では毎年大幅な赤字を計上しており、政府からの補助金でこれを補填しているため、収益性の改善が課題となっている。